■アプリのタイトル

おてまね

■制作者名

湯澤 成美

■アプリケーション概要

子どもと家族でお手伝いの内容を考えたりリストにして見やすくし、達成記録をしていくアプリです。

このアプリでは、お手伝い内容のリストを作成することができ、お手伝いの達成記録をカレンダーや達成済みリストに反映できます。お手伝いには報酬を設定することができ、子どもの成長に応じて金額や内容を更新していくことができます。 お手伝い内容はアプリ内にプリセットされた内容の他にも、オリジナルのお手伝いを作成することもできます。

さらに、お手伝いの成果に対し家族は評価をすることができ、家族間のコミュニケーションのひとつになったり、お手伝いをする子どもの自己肯定感を高めることができます。

■解決したい課題について

私は子育て中で5歳の息子がいます。

好きな遊びへの興味が拡がり「新しく出たooが欲しい」「このゲームがやりたい」と金銭が関わる遊びを求めることも増えました。そこで、お金の大切さを学んでほしいという願いからお手伝いに応じてお小遣いを渡すようにしていきました。

しかし、お手伝いの内容が明確でなかったり、達成できた回数や金額の記録が出来 ていないため曖昧なやり取りをすることもあり、子どもと親それぞれにお手伝いやお 金に向き合う意識が確立されていないと感じています。

その背景に以下のような問題があると考えました。

• ルールの問題

- お手伝いの内容や種類が明確になっていない
- お小遣い制度について家族間での認識が統一できていない
- 親と子の間で達成度や回数に差が生じている

● 記録の問題

- スマートフォンやタブレットが普及している現在、紙媒体のノートやメモ 帳などを用いた記録は継続しづらい
- 子どもが分かりやすいように可視化できていない

上記のような問題を解決する既存サービスとしては以下があります。

- お手伝いバイト(iPhoneアプリ)
 - 実行したお手伝いをリストで表示したり、お手伝いした日をカレンダーで ひと月毎に表示し、達成度が分かりやすく可視化されている
 - 一方で、お手伝い内容や金額の修正機能がなく、削除してから新たに 設定していく必要がある
 - また、記録の際には日付とお手伝いを一つずつ選択しなければならず、指定した日に対しての記録をまとめて行うことができない

上記の事例を踏まえ、お手伝い内容や報酬を修正する機能を設け、指定した日に対し一括で達成項目を登録することで、記録をスムーズにできるのではないかと考えました。

■課題を解決する方法について

おてまねは、家族間でのお手伝い制度への共通意識を深めつつ、ユーザーの記録の手間を減らすサービスを提供します。

家族はお手伝い内容を修正・削除できるため、子どもの取り組み姿勢や成長に応じて報酬を変更できます。内容を修正しやすくすることで、報酬の変化からお手伝い意欲が継続できるのではないかと考えます。

達成時は、あらかじめ取り組もうと選択していたリストの中から「できた!」ボタンを押すと達成済みリストに登録され、カレンダーやホーム画面に記録されます。事前に数を絞ることで、記録時の選択肢を減らし、子ども自身ができると考えるお手伝いの内容を把握しやすくします。

おてまねは、親子が継続しやすいお手伝い制度を支える、簡単な記録管理サービスを提供します。

■機能一覧

- お手伝い登録機能
 - 自身でオリジナルのお手伝い内容を作成し、報酬内容や金額を登録できる
 - 登録可能な情報
 - お手伝いの内容
 - 報酬(いずれかを選択)
 - お菓子
 - お小遣い(金額設定)
 - お願い事(自由記述)
- お手伝いリスト登録機能
 - 検索機能で選択したお手伝いや、作成したお手伝いをリストに登録できる
 - 登録したお手伝いは編集・削除できる
- お手伝い一括登録機能
 - 達成記録は1つずつ行える他、日ごとにまとめて記録できる
- お手伝い記録カレンダー機能
 - 達成時は横表示のカレンダーにマークが付き、お手伝いした日を一目 で把握することができる
- お手伝い達成一覧(ホーム画面)
 - ひと月毎に合計金額や家族から送られた評価の数を表示することができる
- おうちのひと(マイページ)機能
 - お手伝いの評価や内容の編集、メンバー管理ができる
 - アカウント情報やパスワードの変更により、お手伝い管理者の変更やセ キュリティ対策ができる
 - 達成時の評価(イラスト5種類から1つ選択)
 - お手伝い内容や報酬の修正・削除
 - 使い方ガイド
 - 家族招待
 - 家族情報・メンバー管理
 - アカウント情報パスワード変更

■他資料

- 画面設計図
 - 画面設計図
- 画面遷移図

- <u>画面遷移図</u>
- ER図
 - o ER図